

2017 明治安田生命 J2 リーグ 第 20 節 vs. ジェフ千葉

6/25 (日) 18:00 kick off @岐阜メモリアルセンター長良川競技場



10th anniversary

2017 J2 ■順位表■ 第19節

勝点、得点、失点、得失点差、岐阜戦の戦績 (岐阜から見て)

1	福岡	37p	29	16	+13
2	湘南	37p	22	16	+6 A△
3	横浜FC	32p	25	17	+8 H●
4	長崎	32p	26	21	+5 H△
5	山形	32p	18	15	+3 H△
6	東京V	31p	27	17	+10 A●
7	水戸	31p	24	18	+6 H○
8	名古屋	31p	32	28	+4 A△
9	愛媛	31p	27	23	+4 A●
10	徳島	30p	24	18	+6 A△
11	大分	29p	25	22	+3 H●
12	松本	26p	24	14	+10 H●
13	岡山	26p	19	24	-5 A△
14	京都	25p	25	23	+2 A△
15	千葉	24p	25	27	-2
16	岐阜	23p	26	26	0 --- ---
17	町田	23p	22	22	0 A○
18	金沢	19p	17	32	-15 H○
19	熊本	15p	18	33	-15 H●
20	讃岐	13p	18	29	-11 A○
21	群馬	13p	14	36	-22 A○
22	山口	10p	15	29	-14 H△

today's guest : ジェフ千葉

2016 J2 13勝14分15敗 勝ち点53:11位

直近の対決と結果

2016/09/11
J2-31節@長良川

岐阜 0-2 千葉

ここ3試合の公式戦の結果

FC岐阜	ジェフ千葉
2017/06/21 天皇杯@鳴門大塚 徳島 0-3 岐阜	2017/06/21 天皇杯@フクアリ 千葉 1-0 東京V
2017/06/17 J2-19節@Cスタ 岡山 1-1 岐阜	2017/06/17 J2-19節@K sスタ 水戸 3-1 千葉
2017/06/11 J2-18節@ニスタ 愛媛 2-0 岐阜	017/06/10 J2-18節@フクアリ 千葉 0-0 福岡

●GWの3連勝以降、勝利を掴めていないFC岐阜。6/3(土)第17節・ホーム山形戦は、前半に#17大本祐槻のJ初ゴールで先制。その後も攻勢を続けたものの追加点を奪えず、逆に隙を突かれて失点。1-1のドローに終わった。続く6/11(日)第18節・アウェイ愛媛戦でも、決定機で得点を奪えずにいる中、守備の連携ミスから失点し、結局は0-2での敗戦となってしまった。そして6/17(土)第19節・アウェイ岡山戦でも、最初に大きな決定機を演出したのは岐阜だったが、先制したのは岡山。しかし、試合終盤に#24難波宏明がゴールを決め、1-1での引き分けに終わった。

なお、6/21(水)には天皇杯2回戦が開催された。FC岐阜は徳島を3-0で破り、3回戦に進出。7/12(水)に長良川でJ1・広島と対戦することになった。

これで、リーグ戦8試合未勝利となってしまったFC岐阜。もちろん8連敗ではない(5分3敗)ので勝ち点を積み上げてはいるが、3試合を経過して順位は14位から16位に下降。プレーオフ圏内(6位以上・東京V)は勝ち点差8に、J1自動昇格(2位以上・湘南)は勝ち点差14と、かなり差が開いてしまった。6位(東京V)から17位(町田)までの勝ち点差も8と開き、中位グループ内でも差が開いてきている。現在は、その中位グループの底にいるFC岐阜。ただし今はまだ、勝ち点差3以内に上位4チームが入っており、1試合の結果で順位アップが可能な状況だ。早いものでいつの間にか今節は、2017シーズン前半最後のホーム戦となる。そして僕らは約2ヶ月間、チームの勝利をホームで見えていない。今節こそは何としても勝利して、シーズン後半戦の巻き返しのきっかけにしたいところだ。

さて、その2017シーズン前半最後のホーム戦での対戦相手は、現在15位のジェフユナイテッド千葉だ。言わずと知れた「オリジナル10」で、例年J2上位争いに加わっていたが、昨年は低迷して11位。アルゼンチン出身のエスナイデル監督を招聘して新たなチーム作り着手している最中だ。今シーズン、これまで6勝6分7敗・25得点27失点。過去5試合の戦績では1勝2分2敗・7得点8失点。愛媛に4-2で勝利したり水戸に1-3で敗れるなど、「出入り」の多いサッカーをしているチームだ。その25得点を11選手が挙げている点などは、26得点26失点・13選手がゴールを決めている今年の岐阜と、良くも悪くも似た点があるチームと言えるだろう。今節は、激しい点の奪い合いになる展開も予想される。

リーグ戦での通算対戦成績は、岐阜の3勝3分8敗・10得点20失点と大きく負け越しているが、ホーム戦では2勝2分3敗・4得点7失点と、ほぼ互角の内容だが、昨年9/11(日)第31節・ホーム戦は0-2で敗れている。今節はリベンジを果たして、ホーム戦での成績を五分に戻したいところだ。

千葉で最も注意すべき選手には、#8清武功暉を挙げたい。昨季は熊本の中心選手だったが、今年は既に千葉の中心選手となって、現在7得点。また、195cmの長身FW#50指宿洋史も要注意だ。もちろん、彼に自由にポストプレーをさせないことが最も重要だが、このスペインリーグ経験者と、岐阜のスペイン人GK#25ビクトルとの、ゴール前での空中戦も注目だ。

千葉と同様に、チーム作り1年目のFC岐阜。ここ8試合は未勝利が続いているが、それもチーム作りの最中、「産みの苦しき」だと考えたい。選手たちもスタッフたちも、色々悩み苦しみながら、自分たちのサッカーを模索していることだろう。僕らサポーターは、そんなチームや選手たちを叱咤激励しながら、その背中を後押ししてゆこう。この苦しみを乗り越えれば、チームも選手たちも、大きく成長できることだろう。その思いを胸に、今節もまた、最後までひたむきに勝利を目指す選手たちを、最後まで拍手と声援で励まし、そして2ヶ月振りに、勝利の歓喜を万歳四唱で選手たちと分かち合おう。(ささたく)

次回HomeGame

第22節 vs. 京都サンガ

7/9(日) 18:00

@岐阜メモリアルセンター
長良川競技場

大酒場 ホムラン TEL. 058-263-5201
名鉄岐阜駅前(三菱東京UFJ銀行隣り)
年中無休 午後3時から営業

Living in Woods
本庄工業株式会社
<http://www.honjo-woodream.com/>

岡田歯科医院
岐阜市加納新本町1-23
tel:058-273-8998

ALADDIN
何も無い店だけど..
心の花が咲く..
何も無い店だけど..
心癒される..
忘れかけていた喫茶店がある
岐阜市昭和町3丁目(木ノ本公園東)

「いらっやいませ」より「おかえりなさい」が似合う
アットホームな韓国料理店。
『チヂミ屋』は
JR岐阜・名鉄岐阜駅から
徒歩3分。
休:月曜日

投稿募集!!
gidaidohri@gmail.com

【第17節】岐阜 1-1 山形

●アレ？昨季も「岐阜市民総力戦」って山形戦だったんですね？昨季の山形戦の投稿を読み直したら、そんなことが書いてあったんですけど、そんな偶然もあるんですね。とはいえ、今季は一万を超えるお客さんの中での試合。しかも、昨季と違って見ごたえのある内容、引き分けになっちゃたけどゴールも勝ち点も取れた。本音を言えば、そろそろ勝利が見たかったし、普段は見に来ないお客さんたちにもそれを見せてあげたかった。バンザイ四唱やりたかったなあ〜。しかし、野澤のSBはどうなんだろう？もともと、ウチの両SBは位置が高く、最終ライン……いや、守備は両CBとビクトルしかいない設定。その点から行けば彼に求められているのは、ボールのキープ、パス、クロス、あわよくばゴール。要は守備以外の全部？（苦笑）ただ、ウチには絶対的なボール配球係がいる。ボク的には右SBにはアベちゃんを入れて、愚直な上下動と体を張った守備をさせた方がよかったような気がする。逆に、野澤には次節でシンの穴を埋める役割を果たしてもらいたかったが、アベちゃんの退場、次節出場停止で大本を下げるしかなくなったのかな？ヘニキがサブにも入らなかった理由も、いまいわからない。まあ、アベちゃんのファール、警告はしかたがない。DFとしての責務の一つを果たした。そう思うことにする。ああしなければヤバかった。しかし、前半は今季でも出色の出来だったように見えただけだな。やっぱり、2点目。複数得点できないと勝ち点3は遠のいてしまうんだなあ。もったいないなあ。それはともかく、初ゴールおめでとう！大本。ようやく来たね！決めてくれたね！！キョーゴからボールを受けた時には「持ちすぎだ……。」とも思ったけど、実に冷静にキーパーを外してのシブいゴール。これからも、どんどん狙って、ビシバシ決めてほしい。待ってるよ！（ぐん、）

●16節・京都戦での、大本の2列目と野澤の右SB起用。京都からレンタル移籍中の永島が使えないから……と思っていたけれど、この試合でもサイド布陣はそのまま。ということは、臨時の施策ではないということだ。それは即ち、4-4の殴り合いとなった長崎戦のあとの大木監督の「簡単に点を取られ過ぎです×4」の言葉通り、点を取られない対策を採ってきた、ということ。実際、攻撃偏重だった右サイドの改善にはなった。大本の先制ゴールもあった。前半は今季最高なんじゃないか？とすら思った。

しかし、やはり「サッカーは途中経過でボーナスポイントが入るスポーツではない」ということか。山形がシステムを変えて岐阜のサイド攻撃を封じると、あ〜ら不思議というか不思議でもなんでもなく試合の傾きは山形へ。阿部ちゃんの退場も、言い方は悪いが「よくぞ犠牲になってくれた（あそこはああでもして止めないとゴールシーンまで持っていかけた）」という感じだったし、試合終了の瞬間は「あー、なんとか勝ち点1は確保した」と思った。いまの岐阜になくて対戦相手にあるものは、『自信』なんじゃないか、と思う。どの相手も「いまの岐阜が相手だったら、ここをこれこれこうすれば“勝ち負け”まで持って行ける」と『自信』を持って臨んでくる。岐阜がやってくることは決まっている、わかっている。そしてそれは、実際にその通りなのだ。今後も苦戦は続くだろう。（吉田铸造）

【第18節】愛媛 2-0 岐阜

●昨季の愛媛戦後には「ついに勝ったし、渋滞が解消されない限り、二度と来ねーよ、ニンスタ」などと、この『岐大通』に投稿したのですが、性懲りもなく昨季の歓喜を求めて遠征。しかし、魔境・ニンスタの結果は堅牢。またしても、無得点での敗戦となってしまいました。残念です。

自分なりの一言で表すと『完敗』。ニンスタでは十年に一回しか勝てんのかなあ？と思ったりもしたけど、今までの『気持ちワルイ負け』ではなく、単なる力負け。そんな印象。特に組織力、さらには3トップの出来が愛媛の方が上だったな、と。ルーキーのCFに先制されて、彼と交替したFWにダメ押し。アレでえなりくん（編集部注：愛媛FW河原和寿）が間違わなきゃ、あと2点は取られてた。相変わらず面倒な近藤にも危ないシュート撃たれたし、2点で済んだのはラッキーとも言える。とはいえ、ウチはゴールを決めてナンボ。それが零封されたのだから、この結果もやむなし。ただ、ウチにも惜しい場面はあった。スタッツを見ても遜色はない。なのに、ヤラれた感満載。それは、ボールをキープして回していくウチに対し、引くトコ行くトコを徹底した愛媛の一体感。全員が「サッカー、わかっとるな」という雰囲気を感じたせいかもしれない。同じ新任監督だが、スゴイな、間瀬サン！と脱帽。だけども、大木サンがアカンとは微塵も思っちゃいない。ただ、彼の言葉を借りれば「カンタンに点を取られすぎ」。それに尽きる。先制点なんか、長崎戦の2点目同様、「どうぞ、取ってください。」な凡ミス。ほとんど2バックの我が軍最終ライン。そこでのミスは即失点だ。最終ラインは細い細い一本の線、蜘蛛の糸。オン・ザ・エッジでプレーしてるんだということをお忘れてはいないハズだよ。きつと、猛省してるでしょ。お願いしますよ？15番。

しかし、それより何よりキョーゴ、だな。キミが決めてりや問題なかった……、いや、問題はあるにせよ、結果は出せてたかな。しかし、大分戦から6戦連続か？決定機ハズしたの。ある意味スゴすぎる。つまり、そういう位置にはいる。そこには持っていける。あとは、決めるだけ。そういうことだ。ただ、それだけだ。だから、試合後のゴール裏からはアツイ激だけが飛んだ。顔を上げろ、と。続けよう、と。勇気を持って撃つていこう、と。その叱咤激励が届いたから、キョーゴも深々と頭を下げたんだと思う。ルーキーに期待をかけ過ぎているのかもしれない。それでも、期待したい何かがある。きつと、やれる。やってくれる。そんな想いを胸に、岡山戦の朗報を待っている。（ぐん、）

【ユース】リーグ戦の状況

●我らがFC岐阜ユースU-18（以下FC岐阜ユース）は今年もクラブユース選手権の東海大会に参戦しました。そして6/17に磐田市で全国大会出場をかけてPPリーグ2位の名古屋グランパスのユースチームと対戦しました。結果は0対7での完敗。なかなかPPリーグ勢の壁は高いですね。せめて1点は取りたかったのですが……。FC岐阜ユースの次のカップ戦は秋に開催予定のJユースカップとなります。日程・詳細等が出ましたらこちらで共有させて貰います。

一方のG1リーグですが、6/10（土）に第4節の関商工戦が行われましたが、4対0で無事に勝利する事が出来ました！これで6/10時点で3勝1敗の勝点9・得失点差6となりリーグ2位となっています。又昨日6/24（土）に第5節の大垣工業戦が行われている筈ですが吉報が届いている事を期待しています。

この後のG1リーグは県サッカー協会のサイトによれば7/1（土）に岐阜フットボールセンターにて第6節各務原戦が10時KickOffで、7/8（土）に中京高校にて長良戦が12時半KickOffで予定されています。トップチームのホーム試合と重複はしていませんので、良ければ観戦に行ってください。頑張れよ、応援しているからな！FORZA！FC岐阜ユース！！

※試合会場・時間は県サッカー協会、チームの公式サイトで必ず確認して下さい。（シュナ）

【第19節】岡山 1-1 岐阜

●正直よく追いつけたなというのが実感ですね。岡山は（もしかしたら、ヘニキが先発から外れているのを見て）序盤からDFラインの裏へロングボールを多用する攻撃を仕掛けて、そしてウチのミス待ちを狙ってたような感じ。後半立ち上がりの失点は豊川を捕まえきれなかったですね。ウチは相変わらずある程度までボール持ち込めてもそこからが……。「思い切って打て！」なんて声も上がってたけど、ある程度人数かけてブロック作られてたから厳しかったと思います。得点の二オイもなかなかしてこなかったですね。

ただ同点の場面は、岡山の脚が止まりかけたところに上手くダイレクトでボール繋いで決めることができ、大木さんの狙ってるサッカーの一端が垣間見えたかも。シシーニョのトップ起用は、ボールを収めることに関しては効果があったかと。ただもう少し周りのフォローが必要だったかな。勝利が遠ざかって何試合か経つけど、大本をFW起用したりして、少しやり口を変えたりしてる部分もあったりするので、ここは我々サポーターも我慢のしどころ。粘り強く見守っていきたい。（岐阜の誇り）

●無得点での敗戦は……なんと13試合ぶり！？やっぱり今シーズンはコンスタントに得点が獲れているんだけど、久しぶりに無得点で負けた愛媛戦。やはり主軸選手#6シシーニョを累積警告で欠いた影響か。さて、今節は…なんと、その#6シシーニョがトップ！？これは大木監督、思い切った手を打ってきたなあ…と、思いながら試合開始を迎えた岡山戦。確かに、シシーニョは上手いし凄いい選手なんだけれど、残念ながら1トップの位置の選手ではないんだと再認識することに。それもあってか、あるいは相手の術中にハマってか、選手間の距離が狭すぎるように感じた。なので相手選手は“とりあえず岐阜の選手の周囲に詰めておけばいい”みたいな感じで、わずかなパス精度の狂いでこぼれたボールを奪われるシーンが目立った。それでも、なんとか試合自体は岐阜のペースで前半を終える。

ところが、後半直後に岡山が攻勢を仕掛けてきて、しかも空中戦。これで岐阜の守備が乱れたところを押し込まれて失点…（溜息）。その後、岡山の攻撃は勢いを減らしたのだけれど、岐阜の攻撃が、フィニッシュの一手手前で時間をかけてしまったり、シュートせずにさらにボールを回してしまったり。その隙に相手に守備網を固められてシュートが撃てない。あるいは、フィニッシュに至るプレーも、狭いところにボールを通そうとして相手に奪われたり…どうにも、攻撃に手詰まりを感じてしまう展開に。これはまずいか……と思っていたところに、それまでが嘘のように見事な連携から、#24難波宏明のボレーシュートで同点ゴール！しかし、ここから再び岡山の攻勢が始まり、今季何度目かの「神様仏様ビクトル様」的な神セーブ連発で、なんとか引き分けに。決定機も少なかったから「アウェイで勝ち点1を持って帰る」という意味で、なんとか条件クリアできたような、そんな試合だった。でもこれはアウェイだから感じるのかなのだろう。ホームでは、もっと岐阜の選手が活躍する姿を、もっと思い切ってプレーする姿を、見せて欲しいね！（ささたく）

●この試合は現地に行くことが出来ず、しかも用事があったためリアルタイムでの映像観戦も叶わなかった。そんなワケで、D A Z Nを人生初体験。見逃し配信とやらで観戦してみた。リアルタイムでの配信ではないためか、ウワサのクルクル停止映像に遭遇することもなく、スムーズに観戦完了。時折表示されるデータも楽しめたし、なんで今まで利用しなかったんだろ？と反省しきり。これからは積極的に利用させていただきます。

さて、その岡山戦。よく勝ち点取れたな……、とは言わないが、ビクトル様々だった印象。特に、追いついた後での「あわや……」の場面を防いでくれてありがとう。取った直後の失点はキツイ。それは絶対防がなきゃいけない。勝利を追求する

気持ちもわかるし、今季のスタイルともあいまって、危ない場面が多々訪れるのは承知の上だが、それにしてもね（苦笑）。現地組はもちろん、リアルタイムで映像をご覧になってた方々も、さぞかし肝を冷やされたことでしょう。お疲れ様でした。それでも、ナンちゃんのゴール。あの中央突破は見事だった。アレが、もっと見られるようになるといいね。次節の千葉戦での勝利を期待してます！（ぐん、）

【天皇杯2回戦】徳島 0-3 岐阜

●雨上がり。到着した時は蒸し暑かったけど、涼やかな風が吹き抜けて天候は万全。観客は1108人。岐阜サポは三十人弱。キックオフから優勢の中、早い時間に大本のゴール。続いて、シシの追加点。相手が、3人の交替枠を使い切った後でボランチが故障退場。その時点で大勢は決まり。勝利は5月3日以来。天皇杯は3年ぶりか？しかし、有り体に書くとテンション低め（苦笑）。相手が「この徳島に勝てないようでは……」と思わせるくらいの出来。平日に駆けつけた徳島サポには残念な内容だったように思う。ガチメンのウチに対して、カップ戦仕様、だったのか？そこまで落とすようには思わなかったが、やはり総取替えだったみたい。特に、SBが若手で、そこをウチが制圧した。それが分岐点、かな？ただ、前半には向こうのFWがQBK的にミートし損なってくれた場面を始め、ピンチが2、3回。それを凌いでシシのミドル。効いたよね。シュートを撃ったところからポストに当たるシーンはちゃんと見てたけど、そこからネットが揺れるまでが異様に長かった。外れたのか？と思ったよ。日本での初ゴールおめでとう！

そんなワケで、とにもかくにも、久しぶりの三回戦進出。相手は広島。そして、会場はメモリアルかな、もしかして、メドウ？仕事終わってからも間に合うね。相手が鹿児島でなくてよかったよ（爆）。

鳴門での天皇杯。JFLの時以来だから、あれから10年か。現地には行けなかったけど、確か0-2で負けて、試合後に徳島サポさん達から「上がってこいよ！」と激励を受けたと聞いた。ようやく、恩返しができたかな？それでも、あちらはトップリーグ経験者だからね。まだまだだ。追いつき、追い越せだ。（ぐん、）

【謝辞】編集人から一言。

●仲間うちで「10年続けられたら、止めてもいいかな……」なんて話していたこの『岐大通』ですが、10年続けてしまいました。ぼくは、第1号からすべての号の紙面構成を組んでいます。もちろん楽しいからやっている部分もありますが、キツイ時もありました。土曜アウェイ→水曜アウェイと続いた後の日曜ホーム戦とかね（掲載する対象試合が多くて、しかも編集の時間がない）。この千葉戦号も、アウェイ連戦に水曜の天皇杯までプラスされて、製作工程のタフさにボーナスまで乗っかっちゃったようなもの。しかし、迅速に校正してくれる仲間、深夜でも印刷を引き受けてくれる仲間、そして何より、試合前の配布の際に笑顔で受け取ってくださる皆さまのおかげで、10年の節目に到達することが出来ました。ありがとうございます。

別に「10年続けたら止める」と決めていたわけでもないのですが、今後も発行を続けるつもりですが、自分の中では1つのマイルストーンを踏み越えた気分です。「『岐大通』の発行を引き継ぎたい！」という方がいらっしやいましたら、配布スタッフまでお気軽にお声をおかけください（笑）。今後もよろしくお願いいたします。（編集人：吉田铸造）

